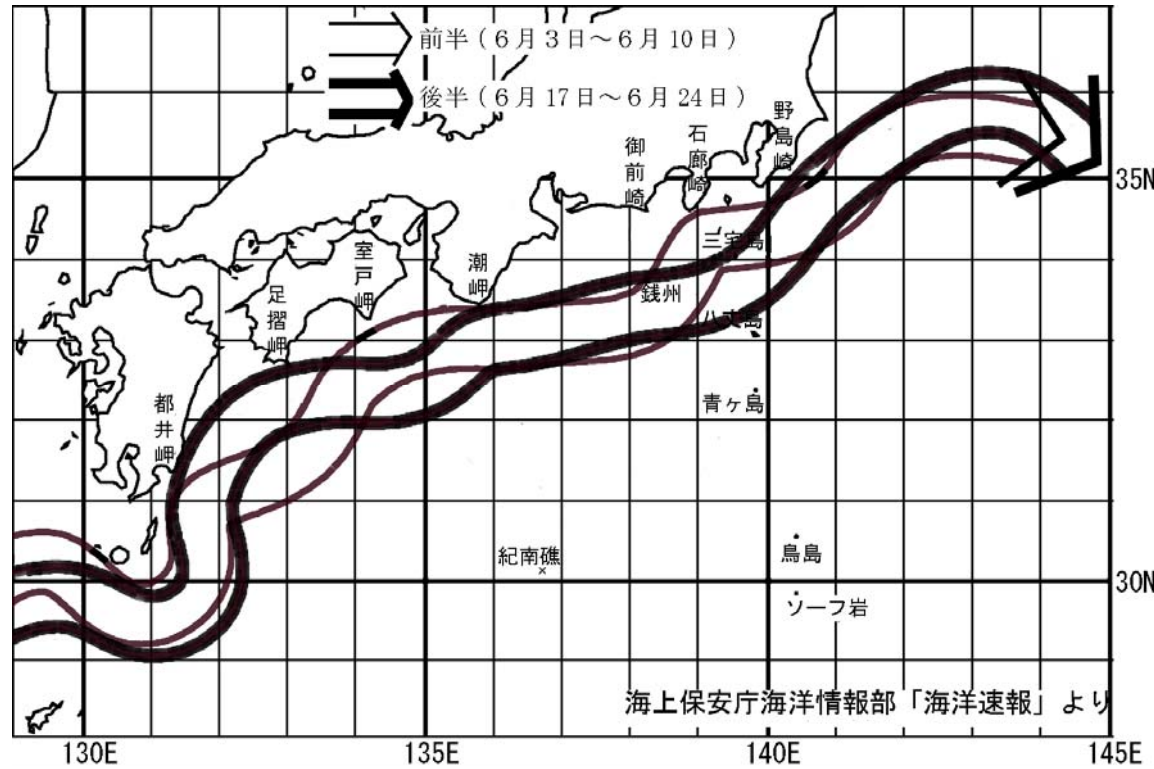


漁海況月報

平成22年 6月 1日

No. 6 ~6月30日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



【黒潮流路】

前半の黒潮は、九州東岸～四国の足摺岬沖で小蛇行し、四国の室戸岬沖～潮岬沖では接岸傾向で流れた。その後、遠州灘沖33°Nを東進し、御前崎沖から北東に向かい伊豆半島にかなり接近し、三宅島のやや北を通り、房総半島沖を接岸傾向で流れた。

後半には、九州東岸～足摺岬沖の小蛇行が紀伊水道沖へ東進し、このため九州東岸～足摺岬沖では接岸傾向で流れ、足摺岬沖では前半に比べ45マイル接岸した。潮岬沖通過後、遠州沖33～33.5°Nを東進し、三宅島のやや南を通り、房総半島に沿って流れた。伊豆諸島北部海域では遠州灘沖の小蛇行の東進により前半に比べ30マイル以上離岸した。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾側では18～22℃台、駿河湾の東部では19～24℃台、西部では18～24℃台で経過した。黒潮の接岸に伴い旬には遠州灘沖に黒潮内側反流が形成され、また駿河湾へは比較的強勢な暖水波及が生じ、沿岸水温は上・中旬を中心にやや高め～高めとなり平年差+2℃以上が数日続いた。下旬には平年並み～低めとなった。

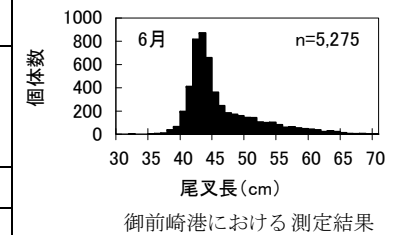
【竿釣近海カツオ】

6月の県内主要5港（沼津、清水、焼津、小川、御前崎）における近海カツオの水揚量は144トンで前年同期の47%であった。魚価は387円/kgで、前年同期を上回った。

静岡県近海では31°～34°N、138°45'～141°30'Eの鳥島から三宅島にかけて小・極小（尾叉長43cmモード）、中、大カツオを漁獲した。

竿釣りカツオ水揚量（近海・沿岸、県内主要5港）

期間	水揚量 (トン)	水揚隻数	水揚/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
22年 6月上旬	45	12	3.8	464
中旬	36	12	3.0	502
下旬	63	15	4.2	267
22年 6月計	144	39	3.7	387
21年 6月計	304	48	6.3	309
20年 6月計	148	57	2.6	402



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	19.6	20.7	20.1	21.9	21.7	20.8	20.3
	-0.2	1.6	0.7	1.4	1.1	0.3	0.0
中旬	21.0	21.1	21.2	22.2	22.9	22.4	22.6
	0.6	1.5	1.4	0.9	1.5	1.3	1.6
下旬	21.0	19.9	19.1	21.7	23.2	22.3	21.4
	-0.2	-0.7	-1.6	-0.4	1.0	0.5	-0.4
月	20.6	20.6	20.1	21.9	22.6	21.8	21.4
	0.1	0.8	0.1	0.6	1.2	0.7	0.4

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は780トンで、操業がなかった赤石を除く1漁場当たり水揚量111.4トンは前年53.6トン(7漁場)の213%、平年値(昭和57～平成21年)50.5トンの198%であった。

魚種別水揚量は、①マルソウダ511.2トン(A:前年同月比 前年は0、B:平年同月比 4,033%) ②サバ類86.9トン(A:67%、B:76%) ③ワラサ84.0トン(A:100%、B:1,283%) ④カタクチイワシ52.0トン(A:68%、B:112%) ⑤マアジ20.8トン(A:80%、B:23%)の順であった。

マルソウダは北川、古網、川奈を中心に入網し、昭和57年以降でもっとも多く漁獲され、漁獲量は過去最高値の4倍以上に達し、尾叉長のモードは33cmであった。サバ類はゴマサバ主体で伊豆山、北川、古網中心に入網し、尾叉長のモードは32cmに見られたが、18cmにも0歳魚と考えられるモードが見られた。ブリのうちワラサ銘柄は古網に集中的に入網し、昭和57年以降で最も多く漁獲された。網代市場における魚体測定はできなかったが、平均体重は5.5～6kgであり、魚体は痩せていたとの情報もあることから、2007年級群中心であると推測された。また、ブリ銘柄は51本の入網に止まり、イナダ銘柄は川奈を中心に7.7トンが漁獲され、尾叉長のモードは47cmにみられた。カタクチイワシ

は古網、伊豆山中心に入網し、伊東市場で測定された被鱗体長のモードは12.0 cmであった。マアジは川奈、伊豆山、北川を中心に入網し、尾叉長のモードは1歳魚と考えられる22 cmにみられた。また、じんた銘柄として2.2トンが谷津、富戸中心に入網し、尾叉長のモードは12.0 cmであった。

漁場別水揚量は、古網231トン（マルソウダ、ワラサ、カタクチイワシ、サバ類中心）、北川178トン（マルソウダ、サバ類、ワラサ中心）、伊豆山153トン（マルソウダ、カタクチイワシ、サバ類中心）の順であった。

【サバたもすくい・棒受網】

小川港には、たもすくい・棒受網によってマサバ3トン、ゴマサバ826トン（前年同月比97%）が水揚げされ、1隻あたり水揚量はマサバ0.1トン/隻、ゴマサバ23.6トン/隻（前年同月比100%）であった。平均単価は、マサバが253円/kg、ゴマサバは66円/kgで前年同月（56円）、前月（63円）を上回った。

棒受網の漁場は、上旬は利島等に、中下旬は三本、三宅に形成され、尾叉長25cmモードのゴマサバ1歳魚（2009年級群）、30cmモードの同3歳魚（2007年級群）、2歳魚（2008年級群）主体の漁獲があったが、利島では、35cmモードのマサバ3歳魚（2007年級群）も僅かに混じった。マサバたもすくい漁は5月下旬でほぼ終漁となった。たもすくいの漁場は利島等に形成され、棒受網とほぼ同魚体を対象に操業した模様。

小川港 サバ類（たもすくい・棒受網）水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
22年6月上旬	3	248	5	14	0.2	17.7	262	67	利島, 三本, 三宅
中旬	0	267	4	10	0.0	26.7	157	64	利島, 三本, 三宅
下旬	0	311	3	11	0.0	28.2	238	66	利島, 三本, 三宅
22年6月計	3	826	12	35	0.1	23.6	253	66	—
21年6月	0	850	14	36	0.0	23.6	—	56	銭洲, 三本, 中の瀬
20年6月	0	780	12	27	0.0	28.9	—	90	三本, 銭洲, 三宅

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

*マサバは中旬に232kg、下旬に156kgの水揚げがあったので、単価のみ記載した。

【サクラエビ船曳網】

平成22年春漁は、6月10日夜で終漁となった。6月は3日の操業で102トンの水揚げがあり、漁場は蒲原沖と安倍川沖を中心に形成された。

漁期の総水揚量は640トンと、前年の859トンを下回った。これは、出漁日数が少なかったこと、漁獲の対象となる当歳エビの漁獲量が少なかったことなどが原因と考えられた。

平均単価は4,583円/kgと、昭和49年以降、最高値を記録した前年春漁の3,403円/kgを上回ったが、漁獲量が少なかったため、水揚金額は29億3千2百万円と、前年春漁（29億2千5百万円）とほぼ同じであった。

期 間	水揚量(トン)	日数	1日1か統当り平均(kg)	漁 場
平成22年6月上旬	102	3	平均 566	蒲原沖, 安倍川沖
平成22年春漁 計	640	15	平均 842	沼津～由比沖, 大井川～吉田沖
平成21年春漁 計	859	17	平均 842	富士川～由比沖, 焼津～大井川沖
平成20年春漁 計	1,298	19	平均 1,139	田子の浦沖

【シラス船曳網】

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾が151kg、遠州灘が377kgと駿河湾では低調であった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は318kgと前年同期(507kg)の63%、平年同期（過去5か年平均：562kg）の57%と前年同期、平年同期を下回った。また、総水揚量は793.3トンで前年同期(1,467.0トン)の54%、平年同期（1,281.2トン）の62%と、前年同期、平年同期を下回った。平均単価は671円/kgと平年同期（569円/kg）を上回った。

シラス水揚量（主要6港）

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	80.0	19	245	326	561
舞 阪	376.8	19	884	426	623
福 田	179.4	18	479	375	617
御前崎	58.9	20	237	248	904
吉 田	85.2	18	427	200	850
静 岡	13.0	11	222	59	1,252
平成22年6月計	793.3		2,494	318	671
平成21年6月計	1,467.0		2,895	507	714
平成20年6月計	1,521.1		1,676	908	324

【まき網】

小川港ではマイワシが134.0トンの水揚げで平年同期（7.6トン）の17.6倍であった。沼津港では、マイワシが327.9トンの水揚げで平年同期（122.4トン）の2.7倍であった。カタクチイワシの水揚げはなかった。静岡港では、マイワシが12.7トンの水揚げで平年同期（4.9トン）の2.6倍であった。カタクチイワシの水揚げは312.4トンで平年同期（393.2トン）の79%であった。伊東港ではマイワシが286.4トンの水揚げで、平年同期（0.3トン）の1,026倍であった。

注）平年同期：過去5か年（2005～2009年）平均

【調査船の動向】

駿 河 丸

6月 1日	～	6月 3日	地先定線観測	(3日間)
6月 7日	～	6月 9日	カツオ魚群分布調査	(3日間)
6月 10日	～	6月 11日	サクラエビ産卵調査・タチウオ調査	(2日間)
6月 15日	～	6月 16日	短期海況変動調査・タチウオ調査	(2日間)
6月 17日			公共用水域水質測定調査	(1日間)
6月 21日	～	6月 22日	サバ標識放流調査	(2日間)
6月 23日	～	6月 24日	シラス調査	(2日間)
6月 28日			マリンロゴ調査	(1日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

